

## ヒヨコ・ニューサークル（HNCM）便り

●令和2年1月10日（金）～12日（日）

### 日本百名山「九州・祖母山」登山報告

保久良支部 小堺 忠史

写真/吉野 宏・勝田 徹

ヒヨコニューサークル令和2年最初の企画で、大分県と宮崎県に跨る祖母山に登って参りました。今回はニューサークルの有志と旗振支部の先輩方による総勢17名、弾丸フェリーによる〇泊3日、山あり酒ありの弾丸登山となりました。

10日（金）18時40分行程通りのバスにJR住吉駅前から合流すると、バスにはすでに皆さんが乗車されており、自然と弾丸登山への期待が高まります。「いざ九州へ！」と六甲アイランドを出航しました。フェリーでの様子は割愛しますが、翌日の登山に備え？・お酒を控えることは一切せず、親睦を深めました。！



弾丸フェリーと船内の男湯（案内写真引用）

翌朝、大分港より手配していたバスに乗車。途中のトイレ休憩を挟み、約1時間半で大分県竹田市の神原登山口へ到着。

9時、いよいよ標高660mの登山口より祖母山頂への登山の始まりです。

祖母山は標高1756.4mで、九州本土では6番目に高い山で、別名を姥岳（うばだけ）又は、鶴羽岳と呼ばれ、山頂に神武天皇の祖母にあたる豊玉姫を祀ったことから祖母山の名がつけられたといわれています。日本百名山にも選ばれ、山頂からの展望はきわめて壮大で、九重連山をはじめ、鶴見岳、由布岳、阿蘇五岳などが望めます。



登山口入口で全員集合！

さあ出発というタイミングで、吉野会長より「今回は九州出身の小堺くんが、会報の記事を書いてくれるそうです！」との無茶ぶり？で一気にテンションが下がり、お腹が痛くなりました。



駐車場・トイレが完備された1合目登山口

気を取り直し歩き始めてまもなく一合目の滝が見えてきました。曇りながらもさわやかな空気の中、眼下に渓流を感じながら、気持ちよく整備された登山道を先に進みます。今年は九州も暖冬で、積雪どころか岩や倒木に苔（コケ）が青々と群生しており、見ているだけで視力が回復する気にな

ります。

五合目を過ぎると、急登、足場の悪い岩場が続く、山頂までの距離がなかなか減らず、ひたすら登り続ける山道に「さすが百名山！」と再認識させられました。



五合目の避難小屋（冬期はトイレ無し）

大岩を過ぎた頃には寒さと疲れで皆さんの口数も減り、殺伐とした空気が漂い始めたときに、突然太陽の陽が差し、視界が開け、目の前にドンと聳える祖母山が姿をあらわしました。



国観峰（くにみとうげ）から祖母山頂を望む

そこは三県境へ向かう登山道との合流地点となっている標高 1,486mの国観峰（くにみとうげ）でこの場所だけ木々が生えていない広大なスペースとなっており、手前にお地藏さん、その奥に祖母山頂を望むことが出来ます。水分補給の休憩をし、先へ進みます。（山頂まで 200m）

すれ違った登山者から「九合目まで 30 分、山頂までは 1 時間。」と聞き、目の前に人参をぶら下げられたことで、雰囲気もすっかり回復しました。しかし、時刻は 13 時前。燃料切れであることは間違いなく、はやる気持ちを抑え、山頂へ向かう前に九合目の小屋（標高 1,655m地点の避難小屋）で昼食をとることになりました。リーダーの判断に異議なしです！

山小屋は想像していたものより立派で、室内には炬燵や座布団もあり、奥さんと喧嘩したらここに来ようと思いました・・・。燃料満タン！さあ山頂へのアタックです！（山頂まであと 100m）・・・。



祖母山山頂の標識



山頂からの大展望！



旗振支部隊の皆さん

山頂は快晴。360 度見晴らし良好。阿蘇連山、由布岳なども望め、風も無く暖かく、長居したかったのですが記念撮影を済ませ、早々に下山開始。体力を消耗していますが、下山は気が抜けません。ここからが正念場です。国観峠から五合目小屋までの急降下は転んだら・・・さよなら！！・・・です！集中力を切らさず、ワンチームで進んでいきます。・・・五合目小屋に到着した時はホッとしました。

17時30分、今か今かとヤキモキしながら待っていた運転手さんの元に到着！・・・休む間も無く荷物を車内にほり込んで、発車オーライ！！・・・

渋滞もあり、運転手さんにはかなり頑張ってもらって頂き、何とか出航締切時間ギリギリの19時、大分港に到着。コントのようにドタバタで乗船口へ！

全員のチケットがあることを確認し、ホッと一息。あとはフェリーが神戸へ運んでくれ、程よい疲れと無事に下山した安堵感で、ついとお酒も進み、会話も弾みます。私の場合、このために登山を始めたと言っても過言ではありません。

私は経験が浅く、今回で百名山 2 座目ですが、好天の中、楽しいメンバーで登頂出来たことは良い経験となりました。今後は参加させてもらうだけでなく、企画にも加わりたいと思います。

今回の山行につき、計画立案を取りまとめて頂いた渡田リーダー、有難うございました。吉野会長、乾副会長、松田支部長はじめ、旗振支部の皆さん、一緒に頂き有難うございました。



令和2年1月11日(土) 祖母山山頂にて